



原発北 棘のため北

「とめよう！なくそう！原発」9・8道民集会（主催＝原発問題全道連絡会）が開催された。30度を超える真夏日の午後1時、会場の大通西10丁目には多くの人が集まった。福島第一原発、半径10キロ圏

郵政産業
ユニオン

さっぽろ

2012年
9月25日
No.3
発行
郵政産業
ユニオン
札幌支部
発行責任者
川守田英男

道庁北門前で毎週金曜日

「原発なくせ」「再稼働反対」。道庁北門前では毎週金曜日、首相官邸前抗議行動に呼応した集會が開かれている。参加したH組員にその模様を聞いた。「これまで4回参加した。会社帰り、市内各区から駆けつけた人、通りがかりに立ち止まり合流する人など、個人が自主的

内から非難した高校生は、「学校で被災して机の上に開きっぱなしのノートを、50年後、100年後でもいいから絶対閉じに行く」、「今も福島出身であることを堂々と言えない」と発言。子供たちにこんな思いをさせておきながら、なお原発にこだわる政府・財界に怒りが爆発した。集会后は、参加者が様々な手造りボードを掲げ市内中心部をデモ行進。支部は組織統合後初の野外集會となり、真新しい旗のもとOBを含め6名が参加した。



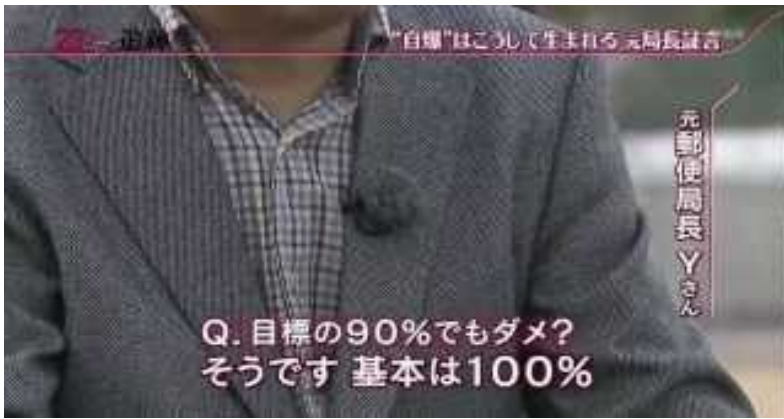
に集まっている。手作りゼッケン・メッセージボードを掲げる人もいる。北4条通りの南北歩道に数百人があふれるが、歩行者のための空間は確保されている。人々は、台上でハンドマイクを握り次々に原発反対の思いを語る。「子供たちの未来に原発はいらない」と語る白石区の教師、「先週わからなかった核のゴミの危険性を調べたら」と勉強の成果を披露する若者。みんなただどしくはあるがそれぞれの言葉で訴えている。原発反対世論の奥深さ広がりを感じる」
花金のたそがれ時、みなさんも一度参加してみてはいかが。



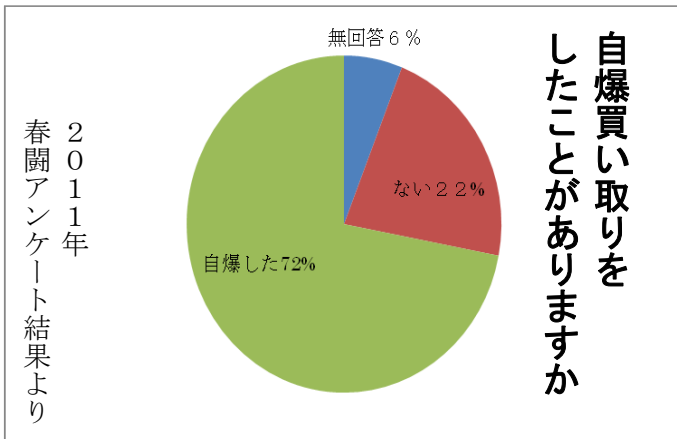
不気味な足音が大阪から聞こえてくる。先の見えない閉塞した世情の間隙をつき、凶暴な集団が全国に侵攻を開始した。橋下が率いる「維新の会」である。彼が大坂で実行した政治は、公務員・組合攻撃であり、福祉破壊である。国政に進出にあたって、その姿勢は変わらない。「維新八策」は、従来の保守政権の域を出ず、むしろより財界寄りで右翼的だ。最大の危惧はその凶暴性だ。「法律なんか糞くらえ」と法を頭から無視し、強引にとを押し進める集団には、これまでにならない危険なおいがただよ。「美しい国日本」を標榜した安倍元首相が、得たりとばかり連携を表明したのもうなずける。マスコミはその何たるかを吟味することなく、ひたすら追いかける。かつての「小泉チルドレン」・「小沢チルドレン」と同様だ。この夏、AKBなるものの「ソーセンキョ」に大騒ぎしたマスコミ。次の総選挙で「維新の会ソーセンキョ」に明け暮れるなら、日本は「橋下モンスター」に蹂躪されることになるだろう。

自爆営業は郵政の代名詞

「郵政残酷物語」…自爆営業、年賀はがき売却の次は「元郵便局長証言 こうして自爆営業は生まれる」。YouTubeサイトで「自爆営業」を検索する



と、こんな項目がトップにアップされている。いまや世間では、「自爆営業」は郵政の代名詞となっている。
まやかしの「赤字論」をふりまき、今年も「年賀営業」が始まった。昨年度を上回るノルマが押し付けられ、またもや自爆



営業が社員を苦しめる。会社幹部がいくら「ノルマではない」「ペナルティはない」と言っても、現場では人事評価・スキル評価の最大の項目である。社員は正規・非正規を問わず、自爆せざるを得ないのが実体だ。アンケートでも、七割の社員が

「自爆した」と回答している。日本郵政グループは10月から局会社・事業会社が統合し「今までどおり、変わらぬサービスをお届けする」と



している。自爆営業も「今までどおり、変わらぬ」のなら会社に未来はない。



札幌での啄木⑤

十九日。「心うら寂しく堪え難し」雨天である。「如何にして生活を安固にすべきか」が今最大の問題だと、せつ子、与謝野他二名に手紙を出す。後刻「我誤てるかな」「全力を挙げて筆をとるべきのみ」と、「天職たる文筆活動」を一瞬でもおろそかにしたことの後悔し、直ちに妻へ第二信を書き送っている。啄木はふるさと洪民村を「石をもて追はるるごとく」離れ、函館・札幌・小樽・釧路と一年余流浪した。それは長男として家族を背負い、「安固」な生活を手にするためであった。「天職たる文筆活動」と貧困との苦悩は二六年間の生涯変わることはなかった。この日、函館から代用教員の日割給与四円二七銭が送られてきて、「湯銭なく郵税なかりし子はすくわれ」た、我「好運児」と狂喜している。
札幌に かの秋われの持てゆきし しかして今も持てるかなしみ